

414
A 4450



第三十号

謹シテ征臺史記附録三十四箇ノ閣下ニ呈ス蓋
シ余ハ右附録ヲ編纂ス可キ密書中ノ文ヲ採萃
スルニ方リ苟モ世ニ公告セント為ス書冊中
祀入スルニ不都合ノ箇條ハ意ヲ用ヒテ之ヲ除
去シタレハ其附録ハ早ヤ密書類中ニ加フ可キ
者ニアラスシテ参考ノ為メ何人ニ之ヲ示スモ
敢テ不都合ノ事アルノ恐レナシ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈



閣下ニ與テ余ニ教諭シ給ヒシ如ク第二十四号
附録ノ改正ニハ餘程意ヲ用ヒタレド惜式此貴
重ス可キ書類ノ英文及譯中ニ其意ヲ解シ難キ
箇條往々之レナリテ此書ヲ終成スル前ニ其解
シ難キ文章ノ新ナル譯文ヲ受取ルナリシ因テ
第五百七十九面及ヒ第六百八十九面ノ二ヶ所
丈ケハ余カ私藏ノ書類ニ依リ其文ヲ綴リタレ
ル其餘ノ処ニハ空白ヲ明ケ置キタレハ迄テ閣
下ヨリ改正ノ文ヲ其処ニ填ル可キ旨ヲ命ジ給
フ可シ(但シ其空白ヲ明ケ置キタル処ハ第六百

六十二面第六百六十六面第七百面第七百二十
二面ナリ)

又右附録中ニハ縱令征名史記中ニ記スル重大
ノ事件ト虽モ苟モ余カ官報ニ拠テ知得セサル
箇條ハ全ク之ヲ除キ敢テ其缺ヲ補ハス例ハハ
(史記第四章ニ記セル)文祥ヨリ榊原氏ニ語レル
鷓ト蛤蚌ノ喩花ニ(第十二章ニ記セル)文祥ヨリ
大久保氏ニ語レル月光ヲ掩フ雲ノ喩ノ如キハ
此類ニシテ余カ今此ニ此二喩ヲ挙グル所以ハ
蓋シ此二事ハ著ルシキ北京談判ノ景況ヲ示

ス者ニシテ此談判中現ニ此二事ノアリシハ余
モ之ヲ知得シ柳原及ヒ大久保ノ西氏ニ問ヒ給
ハ、容易ニ之ヲ詳明ナラシムルヲ得可キカ故
ニ政府其臺灣処置振ノ書類中ニ古ノ二事ヲ記
入シ以テ其書類ヲ全成セシムルヲ至便ナリト
思ヒ給フ可キニ在リ

余カ知ル処ニテハ附録三十四箇中ニテ第一第
三第五第六第七第八第十一第十四第二十第
二十一第二十三第二十七第二十九第三十一第
各号ハ未メ日本文ニ及譯出来セス其中第五第

六第七第八第二十一第二十七号ノ各号ハ讀者
ノ為メ心得トナル可キ事多ク殊ニ第八及ヒ第
二十一ノ両号ハ最モ大切ノ者ナリ而シテ又尔
餘ノ数字ハ日本文ヲ英文ニ及譯シタル者多キ
ニ居リ其日本文ハ政府ノ公書中ニ之レアリト
思フ所ナリ

余ハ此附録ノ原稿ヲ記スルニ當リ種々ノ書類
ヲ参考シ數多ノ箇條ヲ抜萃セサルヲ得ザリシ
カ之ヲ編纂スルニ付テハ大ニマシ氏及ヒケウ
サツツ氏ノ助ケヲ受ケ此両氏ハ余カ嘗テ北京

ヨリ歸リシ以來規則書ニ定ムルヨリモ毎日二
時間ツ、餘分ニ余ヲ彼所ニ出勤シテ励勉シタ
ルニ因リ余カ事業モ之レカ為ノ速カニ成就ス
余ヲ助ケタレハ互ニ其功ヲ等ウスルト云モダ
シヤツヅ氏ノ方ハ最早日本天皇陛下御雇ノ職
務ヲ奉スル者ニ非スマシ氏ノ方ハ猶其御雇ノ
職務ヲ奉スル者タレハ殊ニ閣下ノマシ氏ヲ顧
ミテ之ヲ重遇シ給フテ莫望シ日後好機會ア
ラハ閣下ノ同氏ニ對シ満足ノ意ヲ表示シ給フ

トテ希フ所ナリ

千八百七十五年

閣下ノ從順ナル臣

八月九日

チャドレス、ウレゼンドル

大藏卿

大隈重信閣下

